

平成 29 年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25018
学校名：西岡南小学校

改訂のポイント		<p>○ークラス 40 人に迫る学級増のため、特に算数科における少人数学習の取組を増やす</p> <p>○家庭との連携を図りながら、「学び方」定着への取組を進めていく</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆どのように解決していけばいいかという見通しをもち、自分の考えを進んで表現することができる子ども</p> <p>☆自分の学習を自主的に振り返ったり普段から計画的に学習に取りくんだりするなど「学び方」を身に付けている子ども</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>どのように解決していけばいいか児童が見通しをもてるような授業展開の工夫。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒意欲についての児童アンケートでは肯定的な回答が増加。授業についての学年研修増。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇自己肯定感が高いが自主発信しているかとの問いには否定的</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>発達段階における、きく（聞く・聴く・訊く）力向上のめあての意識化、めあての掲示。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒発達段階ごとのめあてをもつことができ、学校としての力の向上につながった。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇まだ育成過程。学力に現れていくかは今後も検証が必要。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>「朝の活動」の時間帯や毎日の宿題での復習。発達段階に合わせた家庭学習の推奨。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒（12月調査）普段から計画を立てて学習しているとは微増。少人数学習の取組開始。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇学力の二極化解消に向けての取組が必要。</p>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>見通しをもてる授業づくりによる「学び方」を学ぶ場づくりと、家庭学習も含め計画的に学習する「学び方」の確立を目指す。</p>		
	A「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実	<p>○基本的な表現方法や自力解決の進め方等、「学び方」の経験を積ませるような場づくり⇒「西岡南スタイル」の拡充</p> <p>○個や小集団での発見的、探求的な活動、授業の工夫⇒学年研修を通しての授業改善と少人数学習の実施</p> <p>○「聞く」「聴く」「訊く」力の育成を意識した授業づくり・集団づくり⇒研究部発信の校内研究により整理されたものを実践</p>		
	B「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実	<p>○個に応じた指導の充実を図る⇒TTの有効活用と年に1～2回の少人数学習の実施(全学年)</p> <p>○問題解決的な授業とともに基礎的・基本的な知識及び技能の定着も大切に単元構成、夏・冬休みの課題取組後の評価活動</p> <p>○補助教材による算数の基礎的な学力向上の取組、自律した家庭学習の提案と推奨、懇談会等を通しての家庭との連携</p>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）</p> <p>○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用</p> <p>○今年度も札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）に本校の項目も加えた年2回の調査（1～6年生）による調査・分析</p>		